

7 成績評価・成績通知書

(1) 成績評価

試験、実技、実習、レポートの成績および授業への取り組み状況等により評価します。

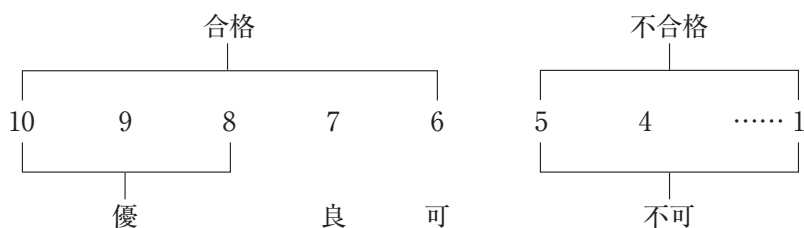
(2) 成績通知

成績の表示は10点満点の整数と評語で行います。

6点以上を合格とし、5点以下を不合格とします。

10点満点の整数を評語に替えるときは、優・良・可・不可とします。成績証明書など、学外への通知は評語で行います。

その関係は、次のようになります。



(3) GPAについて

経済情報学部・芸術文化学部日本文学科では、上記(2)の成績評価に併せて、GPA (Grade Point Average) による成績評価を行います。これは皆さんの勉学上の動機付けをはっきりさせ、学習の質の向上をはかるためです。成績通知書には表示しますが、証明書には記載されません。上記10段階評価とGPAの成績点との対応は次の通りです。

10段階評価	10、9	8	7	6	5以下及び履修したが受験しない場合
GPA成績点	4	3	2	1	0

[GPAの簡単な計算例]

1)

区 分	授業科目A	授業科目B	授業科目C	授業科目D	合 計
単 位 数	1	2	2	2	7
10段階評価	10	9	5	7	
GPA成績点	4	4	0	2	

GPA = (単位数×GPA成績点)の合計÷単位数合計

$$= (1 \times 4 + 2 \times 4 + 2 \times 0 + 2 \times 2) \div 7$$

$$= 16 \div 7 = 2.29$$

(授業科目Cは不合格)

2)

区 分	授業科目A	授業科目B	授業科目C	授業科目D	合 計
単 位 数	1	2	2	2	7
10段階評価	10	9	8	受験なし	
GPA成績点	4	4	3	0	

GPA = (単位数×GPA成績点)の合計÷(単位数合計)

$$= (1 \times 4 + 2 \times 4 + 2 \times 3 + 2 \times 0) \div 7$$

$$= 18 \div 7 = 2.57$$

(授業科目Dを履修したが、受験しなかった。)

注意点

- ① G P Aの最高点は4となります。2以上になるように、努力しましょう。
 - ② 履修登録完了後に取り止めたい授業科目がある場合は、登録訂正期間に、必ず取り消してください。登録したままで出席不足の評価が付くとG P Aが下がります。
 - ③ また安易にたくさんの科目を履修して、十分な学習ができないまま、低い評価を多く取得すると、G P Aが下がります。
 - ④ G P Aは、チューターの先生が皆さんの学習指導・生活指導をするときに、その参考資料の一つとして利用します。
- (4) 成績の通知
認定試験の成績は、指定された期日からポータルサイト「ono-po」の成績照会で確認できます。
- (5) 成績疑義申し立て制度
成績の内容に疑問点がある場合は、指定された期日（各期毎に掲示等で連絡）までに、教務係に届けてください。
- (6) 成績通知書の送付
成績通知書を年1回、保証人宛に送付します。